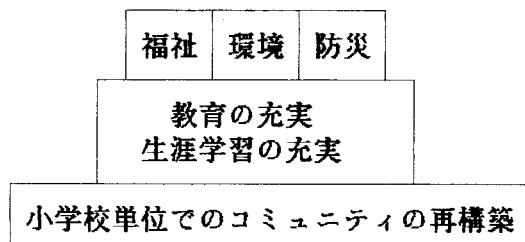


いつまでも直らない税金のムダ使い、行政の自主的な情報公開、役人のモラルの改善、多すぎる議員の定数削減等を人に任せにせず、自分自身で改革していく所存です。

## 上田和俊・東久留米市市会議員候補の推薦依頼

【次の通り考え方実行したく決意いたします】



### ○学校教育を含めた生涯学習の充実

福祉、環境、防災問題を解決する為には、多少遠回りになるかもしれません、教育、学習の充実を図る必要があります。

施策の第一は、教育です。

#### 1) 情報発信機能の充実

インターネットの活用とパソコン教室の充実  
これを地域に開放し、特に情報弱者（家庭の主婦、高齢者等）を無くす

#### 2) 少人数クラスの編成

学級崩壊、不登校等の諸問題にキメ細かく対応

#### 3) 障害児を普通学校へ

障害児教育より始まる、真の学校教育の改革

#### 4) 空き教室に高齢者の為の、ディサービスの拠点を

#### 5) 環境教育の充実

#### 6) 学校の先生、PTAに対して救急処置の実技訓練を実施

#### 7) 防災訓練に学校として、参加の機会を作る

子どもを教育する事は、親を再教育することあります。

障害を持った子供たちと日常的にまた高齢の方と接することによりどう接し、対応したら良いのか自ずと身に付く。福祉の心を培う場が教育の現場であるべきです。

教育を通じて、未来を明るいものとしましょう。

### ○地域作り懇談会の設置

福祉・環境・防災問題……結局は地域の

コミュニティ

ハード・組織を作っても機能しません。

小学校単位で、地域作り懇談会を作り、その中に福祉、環境、防災の部会を設置し、地域毎の特性に応じたコミュニティを形成する。

### ○市民活動支援課の設置

市民が様々な活動を行うに当たりそれを支援する為に、縦割り行政の弊害を少しでも無くし、市民が容易に活動できるよう関係部署との調整を行う機能を持たせる。

### ○介護保険のスタートに当たって

福祉オンブズマン制度をスタートさせる。

私は、親、親類等に政治家や有力者がいるわけではありません。また、お金もありません。ごく普通の人間です。「普通の人が普通に考えておかしいと思うこと」を正して行きたいと考えております。

### 【上田和俊のプロフィール】

1958年11月福岡県北九州市門司区に生まれる。

1977年3月福岡県立門司高等学校卒業。

1981年3月大分大学経済学部卒業。

1981年4月株式会社内田洋行へ入社。新入社員訓練の後、大阪支店勤務より社会人としてスタート。金沢営業所、大阪支店へそして九州支社、現在本社と4回の転勤を経験。

その間に、抜群の営業成果を上げる。

1991年8月優秀賞受賞（大阪勤務）

1992年7月最優秀賞受賞（九州勤務）

1997年7月努力賞受賞（本社）

本年も、パソコン教室のシステムを5億受注。

その他、市民活動にも積極的に関わり、

1994年6月～1996年5月

東久留米市生涯学習市民懇談会委員。

1995年度東久留米市立第七小学校PTA教養厚生部長。

1996年度東久留米市立第七小学校PTA副会長。

1996年度滝山住宅管理組合副理事長。

1996年9月市民救命士登録。

1997年度滝山住宅管理組合副理事長。

1998年度東久留米市環境保全推進委員。

1998年度東久留米市生涯学習情報紙編集スタッフ。

1998年度滝山住宅管理組合理事長。

家族構成：嫁さん・長女（小6）・長男（小4）。

趣味：読書（特に、今東光）、乱読である。

パソコン通信。お酒の席、、、。

献血（1998年10月現在 57回）。

### 参加団体：

・東京・多摩リサイクル市民連邦

・北九州ファンクラブ世話人

・平成維新を実現する都民の会

・東久留米市社会福祉協議会

・CPR友の会

・社団法人日本自閉症協会東京支部

・怒れるサラーマン・市民の会事務局次長

・東久留米ふるさとをつくる会

### 【上田和俊さんを推薦します】

上田さんは、20年近くサラリーマンを経験され、実に素晴らしい実績を持っておられる方ですが、知的障害のご長男が小学校に入られてからの、学校等の対応に問題点を感じられ、議員の立場で色々な改善策を生み出したいと、東久留米市の市会議員への立候補を決意されました。

従って、学校教育に始まり、生涯教育、地域づくり、市民活動支援、市民オンブズマン等に関心を持って取り組みたい意向です。

本人は、一方ならぬ情熱を持ち、行動力溢れる善良な市民であり、市議当選の曉には、市政の改善に全力を上げて貢献されること信じ、推薦する次第です。

上田和俊・市会議員候補推薦人代表：杉原健児